

立命館大学サービslラーニングセンターで “学生コーディネーター”に挑戦しませんか？

“学生コーディネーター”とは？

学生コーディネーター(以下学生 Co)は、立命館大学サービslラーニングセンター(以下 SLC)で、学生と地域をつなぐ「ピアサポーター」として活動しています。

ミッション&ポリシーに基づいて、学生のボランティア活動や地域社会への貢献活動を促進するために相談対応、活動に関する情報の収集や発信、地域と学生が会えるきっかけとなるプログラムの企画・運営などを行っています。



学生 Co としての活動を通して、以下のような姿勢や素養を身につけることを目指します

【Facilitation】

サービslラーニング科目でのESや、ボランティアコーディネーターとして正課内外で学生の地域活動や学びを促す

【Coordination】

活動フィールドとなる地域や団体、学生と、共感を軸にした関係性を築き、学生と地域を対等になく

【Citizenship】

地域社会や社会課題に目を向けて、社会の担い手の一員としてのマインドを持ち、自ら行動を起こすことができる

SLC の主な取り組み

ボランティア相談への 対応と環境整備

- ・地域のボランティア情報を集め、学生に提供
- ・ボランティアに参加したい学生の関心がある分野、活動地域、期間など希望に沿った活動が見つかるよう、サポート

課外サービslラーニング プログラムの実施

- ・祇園祭菊水鉾ボランティア
- ・OIC夏ボラ
- ・高島ワークキャンプ など

サービslラーニング科目 (教養C群) の開講

- ・地域参加学習入門
- ・現代社会とボランティア
- ・現代社会のフィールドワーク
- ・シチズンシップ・スタディーズ



↑
科目の
紹介はこちら

立命館大学サービslラーニングセンター ミッション&ポリシー

ミッション（基本理念）

1. サービslラーニングの普及により、学生のシチズンシップ（ボランティアマインド等）を涵養する。
2. サービslラーニングに関わる調査、研究を行い、参加型学習プログラムを開発・運営する。
3. ボランティアなどの社会貢献・連携活動の情報を収集、編集、提供するとともに、相談、調整を行い、課外活動を支援する。
4. 社会貢献・連携活動に関わる地域・市民・団体・機関とのネットワークを構築する。
5. 学生と地域・市民・団体・機関との交流窓口として、両者に必要な活動や資源をコーディネートする。

ポリシー（行動原則）

1. 広い視野と見識を持つ地球市民を育成するために、変化する地域・社会や地域コミュニティのあり方に常に関心を向ける。
2. 正課・正課外の両方において学生の主体な学びが尊重されるよう、個と集団の両方が成長する適切なプログラムが提供できているか絶えず見直す。
3. 参加型学習によって専門学習やキャリア・パスへの接続がもたらされるよう、サービslラーニングやボランティア活動の機会を拡充する。
4. 主体的な学びの成果を全学にフィードバックできるよう、現場の教育力の評価や学習環境の条件整備のための客観的な指標の確立につとめ、積極的に用いていく。
5. 地域・市民・団体・機関等と学生のニーズのすりあわせは、学生および地域・社会の双方の将来を展望した上で行う。

2026 年度秋学期サービスラーニングセンター学生コーディネーター募集要項

◆活動内容

学生 Co は、教職員とともに、立命館大学 SLC が掲げるミッション＆ポリシーの実現に向けて、学生と地域をつなぐ活動をしています。

●ボランティア相談への対応と環境の整備

- ・地域、NPO・NGOやボランティア団体の情報収集や開拓、ニーズの受け止め、関係性の構築
- ・学生から寄せられるボランティアや地域活動に関する相談対応
- ・学生に向けてのボランティアや地域活動についての啓発・促進・情報発信

●課外サービスラーニングプログラムの企画運営

- ・学生に地域参加の機会を提供するサービスラーニングプログラムの企画・運営
- ・学生団体の情報収集、学生団体の活動サポート、活動創出支援
- ・SLC 主催企画の運営

●サービスラーニング科目(教養 C 群)の運営補助

- ・サービスラーニング科目受講生の地域での活動や、教室での学びの促進・支援(ES(教育サポーターとして授業の運営補助を行うアルバイトスタッフ)など)
- ・科目の活動報告会などの発表機会における運営協力

◆活動条件

- ・活動キャンパスは所属キャンパスとなります。
 - ・採用後の新メンバー研修、年度末研修など 3 キャンパス合同研修は参加必須です。
 - ・学生 Co の活動は原則無給です。ただし、以下の費用については補助を行います。
 - ▶プログラムの実施にかかる経費(消耗品費、団体との打ち合わせの際の交通費など)
 - ▶活動のスキルアップにかかる経費(SLC が指定する研修プログラムの受講費および交通費) 等
- * ボランティアコーディネーション力検定の受検を推奨します

新メンバー研修(春)	2026 年 5 月 30 日(土)
他大学訪問(関西学院大学)	2026 年 9 月 16 日(水)
3 キャン合同研修	2026 年 9 月 18 日(金)
新メンバー研修(秋)	2026 年 10 月 31 日(土)
チーム力向上研修	2026 年 12 月予定
年度末研修	2027 年 3 月予定

◆活動期間

- ・原則、採用されてから本学を卒業修了するまで
- ▶半年ごとにシートや面談で活動のふりかえりと継続の意思確認を行います
- ▶本人と事務局の相談の上、活動の辞退や休止を決める場合や、活動状況によっては継続を認めない場合があります



◆応募資格:次の1～4 の条件を満たすこと

1. 立命館大学に在学中の学部生、院生であること。
2. 立命館大学 SLC のミッション&ポリシーに賛同し、自分自身を含めた本学学生がボランティアや地域活動、社会貢献活動へと参加し、その経験から学びを深める「サービ斯拉ーニング」の発展に寄与する意思があること。
3. 以下の①もしくは②のいずれかの経験がある(または、現在している)こと。①ボランティアや地域貢献活動の経験(小～高校時代の経験、大学でのプログラムへの参加、ボランティア系サークルでの活動など)、②サービ斯拉ーニング科目(教養 C 群、詳細は下記参照)の受講(今学期の受講も含む)
4. SLC が実施する募集ガイダンスに参加していること。

◆募集人数 各キャンパス若干名

◆募集ガイダンス 下記 HP より各キャンパスのガイダンス日程を確認の上ご参加ください <https://www.ritsumeai.ac.jp/slc/event/detail/?id=538>



※ どうしても都合があわない場合、各キャンパスの SLC 事務局までご連絡ください

◆選考面接 応募フォームに記載された志望動機や、面接内容をもとに選考を行います。

選考は、以下の内容をもとに評価します。

- ・SLC での活動への知識(サービ斯拉ーニングやボランティアコーディネーションの基本的な理解)
- ・SLC での活動への意欲(学生 Co として達成したいことや、なりたい姿、活動で生かしたい経験など)
- ・自分の意見や想いを伝えられる、また、他者の声に向き合うことができるコミュニケーションスキル

※明らかに SLC や学生 Co としての活動について理解ができていない場合は、登録をお断りする場合もございます

応募から活動開始までの流れ

10/1(木) ～ 10/7(水)	《募集ガイダンス》各キャンパスで実施されるガイダンスにご参加ください。 *応募にあたって、ガイダンスへの参加は必須とします
ガイダンス参加 ～10/9(金)	《体験期間》 ガイダンスを受け、募集要項をよく読んだ上で、学生 Co として活動したい方は、各キャンパスの学生 Co の活動(ボランティア相談・ミーティングなど)に参加することを推奨します。
10/5(月) ～10/9(金)	《応募期間》 学生 Co を志望される方は、志望理由等を入力の上フォームで応募ください。
10/14(水) 10/15(木) 10/16(金)	《選考面接》 応募いただいた方の選考面接を実施します。
10/28(水)	《採否発表》STUDENT PORTAL にて決定通知を送付します。登録フォームに必要事項を入力してください。
10/31(土)	3 キャンパス合同 任命式&新メンバー研修

◆任命式&新メンバー研修 2026 年 10 月 31 日(土) @衣笠キャンパス 充光館 1F

*登録を希望される方は原則参加必須ですので、予定を空けておいてください

学生コーディネーターからのメッセージ

衣笠キャンパス 片桐 楓さん(産業社会学部 3 回生)

各キャンパスにはボランティア情報を見たり、地域参加の相談をしたりすることができる「窓口」があります。私は窓口で学生に「やってみたい！」と思えるようなボランティアを提供することが地域と学生をつなぐ一つの方法だと考えています。窓口相談では相談者の興味のある分野だけではなく、話を聞か中でこの団体もおすすめてほしい！と思ったボランティアも紹介しています。最初は緊張気味だった学生が相談後に笑顔で帰っていく姿を見ると学生を後押ししてきたように感じます。自分がボランティアに参加するだけではなく、経験や地域参加の楽しさを届けたいという気持ちで活動をしています。ぜひ窓口に遊びに来てください！

また、興味のある方は学生コーディネーターと一緒に活動しましょう！！



びわこ・くさつキャンパス 望月 皓貴さん(食マネジメント学部 3 回生)

私はサービスラーニング科目「現代社会とボランティア」のESとして、教員・受講生・活動先の三者を繋ぐ架け橋となる活動に注力し、大きなやりがいを実感しました。特に、ボランティア未経験の受講生に対しては、学生コーディネーターという近い立場を活かし、同じ目線に立って活動の価値を共に考えるよう意識しました。具体的には、受講生の不安を汲み取りながら、活動先が求めるニーズを分かりやすく言語化して伝えることで、前向きな参加を促しました。この経験は、相手の状況に応じた伝える力の向上に繋がりました。また、地域の方々との交流を通じて多様な価値観に触れ、知見を広げられる点もこの活動の魅力です。他者の学びを支える経験が、自身の成長にも直結していると強く実感しています。



大阪いばらきキャンパス 衆原 紀美さん(政策科学部 3 回生)

学生主体でプログラムを運営することは、センターのミッション＆ポリシーを大切にしながら、自分たちのやりたい企画を実現していく難しさもあります。しかしその分、主体性が身につく、地域の団体や、そこに関わる多様な人々と関わる機会が増えることで、新たな価値観に出会うことができます。

また、チームで活動する中で、学生コーディネーター内で話し合って役割分担をすることで、協力して進めるやりがいを感じられます。また、実際にプログラムに参加してくれた学生が楽しそうに取り組んでいる様子を見ることができ、企画をやり遂げた後には達成感を得ることができます。



よくある質問

Q1. この活動はボランティアサークルですか？

A1. 答は「No」です。「学生 Co」は、ボランティアサークルではなく、SLC に所属して活動する「ピアサポーター」です。教職員と協働しながら、学生のボランティア理解や参加を促進するための取り組みを行っています。

Q2. 研修はどのようなことをするのでしょうか？

A2. 学生 Co は、「ボランティアコーディネーター」として、同じ学生の視点から学生の活動を支援します。そのために、ボランティアに関する正しい理解や、地域と学生をつなぐこと(ボランティアコーディネート)に関する講義、ワークショップ等の研修、活動をふりかえるリフレクションも行っています。

Q3. 私は、地域でのボランティア活動に参加しています。活動とコーディネーターの両立は可能でしょうか？

A3. 答は「Yes」です。学生 Co は、ボランティア活動の啓発・推進を担う役割を期待されていることから、個人としてボランティアなどで関わっているテーマや地域(フィールド)を持つことが望まれます。したがって、ボランティア活動と学生 Co としての活動を両立させることは可能であるだけでなく、むしろ積極的に学内外のボランティアサークル、NPO、NGO等で活動し、その経験を発信することが期待されます。

